

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高知県四万十市

本事業の担当部局名 子育て支援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1_1_1 結婚支援センターに関する取組							
個別事業名	四万十市結婚支援センター事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度	
総事業費(A)(円)	7,186,980		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	7,186,980	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	7,186,980							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	739,200	3,939,880	0	13,200	991,800	267,380	
	対象経費支出予定額	739,200	3,939,880	0	13,200	991,800	267,380	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	0	1,235,520	0	0	0	7,186,980	
	対象経費支出予定額	0	1,235,520	0	0	0	7,186,980	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 四万十市の人口は、2024年12月1日現在31,473人であり、「四万十市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」における人口推計では2060年に16,000人程度と推計されている。20～30歳代の未婚率は下降傾向がみられるものの、生産年齢人口や年少人口の減少率は全体と比して大きいことから、各分野において少子化対策の視点を持って事業を行っている。その中で、本事業においては、人口減少克服における重要課題の一つとして位置づけられ、子育てしやすい環境づくりのほか、総合的な結婚支援に取り組むこととしている。</p> <p><本個別事業の位置付け> 市内の婚姻数及び出生数が減少している中、一人でも多くの結婚を希望する若者に出会いの場を提供できるよう結婚支援センターを設置するもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	結婚支援センターによる相談対応	センターに結婚や出会いを求める者が気軽に相談できる窓口を設け、専門職員が相談対応を行い、出会いサポート事業への登録受付や婚活サポーターとの引き合わせ、登録者情報の管理、イベント情報の提供を行い、サポート事業の周知や登録者増を目指す。センターの運営は、利用者の利便性の向上を目的に民間事業者へ委託を行い、市内(市役所外)にセンターを設置する。センターの開所時間は原則として8時30分から17時15分とするが、土日の開所や夜間まで開所する日を設定するほか、日頃センターに来ることができない人向けに出張相談を実施する。 高知県や高知出会いサポートセンターと連携し、主催イベントの周知や近隣市町村主催のイベント情報の提供など出会える機会を支援するとともに、婚活サポーターのスキルアップセミナー等の情報があれば積極的に参加を呼び掛ける。					
	2	婚活サポーターと連携した個別引き合わせの充実	サポート事業登録者とサポーターをマッチングし、個別引き合わせを行う。 婚活サポーターについては、募集・登録や活動管理、サポーター会議の開催、サポーターとの連絡や情報交換、結婚支援業務全般に係る事務を行う。 事業の円滑な運営及び効果的な支援を行っていただけるように、外部講師を招いたサポーター研修会を実施する。					
3	情報提供の実施	高知県や高知出会いサポートセンターのほか、近隣市町村及び市内の民間事業と連携し、主催イベントの周知や近隣市町村主催のイベント情報の提供など出会える機会を支援するとともに、婚活サポーターのスキルアップセミナー等の情報があれば積極的に参加を呼び掛ける。						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

・相談体制の充実化を図ったが、センターまで行くことができないという声も届く、各種イベントに合わせた出張相談所を開き対応を行う。
 ・これまで婚活サポーターは独自の経験をもとに支援を行ってきていただいているが、新しいメンバーを中心に先駆者の取り組みから効果的な方法を学びたいとの意見がある。そのことからR7は講師を招いたサポーター研修会を行う予定である。
 ・近隣において少子化に対する取り組みを検討している自治体が増えてきた。また、四万十市内において民間事業者が出会いの場の創設について独自に取り組みをスタートしており機運が高まっている。これまで以上に連携を密にし、効果的な取り組みや情報の集約及び発信ができるように取り組んでいく。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		合計特殊出生率	%	1.80 (R7年度)	1.45 (R4年度)
		20代男性の未婚率	%	72.3 (R7年度)	73.5 (R2年度)
		30代男性の未婚率	%	32.8 (R7年度)	38.1 (R2年度)
		20代女性の未婚率	%	63.1 (R7年度)	66.6 (R2年度)
		30代女性の未婚率	%	20.8 (R7年度)	26.1 (R2年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.45 (R4年)	
		婚姻件数	件	110 (R4年)	
		婚姻率		3.5 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	窓口相談件数	件	20 (R7)	18 (R5)
	②	出会いサポート事業登録者数	人	20 (R7)	16 (R5)
	③	情報提供の回数	回	10 (R7)	9 (R5)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7)	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	相談から出会いサポート事業への申し込み	%	60 (R7)	33 (R5)
	⑤	出会いサポート事業登録者への支援に関する満足度	%	80 (R7)	未集計
⑥	婚活イベントを友人等に薦めたいと思った参加者	%	80 (R7)	---	
⑦					
⑧					